

人との違い 楽しむ絵本

自閉スペクトラム症など発達障害のある札幌のHIROTOさん(15)＝本名・春日井紘斗さん＝と、重症心身障害のある長男を育てる石狩市の絵本作家、庄司あいかさん(40)が絵本「まちがいだらけ」を作った。人の多様性の大切さを色彩豊かなイラストで描き、「人との違いにワクワクする」ストーリーだ。国連が定める「世界自閉症啓発デー」の4月2日に出版する。

絵を描いたHIROTOさんは中学を卒業し、4月から特別支援学校に通う。幼少期から絵を描くことが好きで、札幌市内外で個展をこれまで6回開いてきた。

文と構成は、庄司さんが担った。長男(14)は、全身に良性の腫瘍が出やすい難病「結節性硬化症」を患う。生まれつき脳腫瘍があり、半身まひや薬を使っても発作が抑制されない「難治てんかん」がある。

言語を理解できない長男も楽しめる絵本を作ろうと、庄司さんは2022年から障害への理解を広める活動に取り組む「インクルーシブ絵本作家」として、24年にはNPO法人「絵本屋だっこ」を立ち上げた。

庄司さんの絵本のファンであるHIROTOさんの母春日井輝美さん(50)が共同制作に向けて声がけ。HIROTOさんは絵本を50冊ほど手作りして

札幌 発達障害あるHIROTOさん × 石狩 作家の庄司さん

あす「自閉症啓発デー」に出版

きたといい、輝美さんは「本格的な絵本を出せたらいいねと話していた。実現できるのは」と喜ぶ。

「まちがいだらけ」は、HIROTOさんの創作キャラクター「シエリーカールにゃんこ」が、森で見た目や性質の異なる多くの「にゃんこ」の出会いを通じて、多様性に気付く物語。最初は「変わっていて気持ち悪い」と戸惑う「違い」が、「間違い」ではなく、しだいに「ワクワクだった」と個性を楽しむストーリーだ。

独自の世界観を表現したHIROTOさんは「(完成して)本当にうれしい。いろいろな人に読んでもらいたい」。庄司さんは「価値観、偏見は気付きにくい。絵本が『自分も間違いだと思っていたかも』と気付くきっかけになったらうれしい」と語った。

絵本は21号四方で36ページ。大手通販サイトAmazonなどで1320円、電子書籍は千円で販売する予定。

(竹田菜七)

絵本「まちがいだらけ」を世界自閉症啓発デーの4月2日に出版する(左から)庄司あいかさんとHIROTOさん。右は母の春日井輝美さん

